

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和3年 1月 30日

事業所名: すまいる・きつづ

サービス種類: 放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	3つの部屋を、それぞれプログラム、課題、余暇等に分かれて使えるよう配置している。また、サンルームを増設し、子どもが使えるスペースを広げた。	はい: 70.4% どちらともいえない: 11.1% いいえ: 0% わからない: 18.5%	利用スペースの状況が保護者に伝わるよう、ブログ、お便り等での周知を図る。R2年12月度すまいるだよりにてサンルーム設置と、各部屋の使用用途をお知らせした。
	2 職員の適切な配置	職員の配置は法定で定められた職員数以上を確保している。有資格者を中心に療育や曜日別のプログラム、個別に合わせた課題及び学習を実施している。	はい: 74.1% どちらともいえない: 7.4% いいえ: 0% わからない: 18.5%	今後も現状を維持できるように、職員の適切な配置を継続していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	子どもたちが一日の活動を理解しやすくなるよう導線の確保や、一日のスケジュール(課題、プログラム、おやつ頭)、物の場所が分かりやすくなるよう視覚支援を行っている。イベントなど日常と違う動きがある時は、しおりなどを子どもたちに事前に渡して、何をするのか伝えている。	はい: 74.1% どちらともいえない: 11.1% いいえ: 0.0% わからない: 14.8%	今後、保護者や利用児童の様子を観察し、改善点があれば、その都度、改善を行う。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃、消毒を行い、清潔を保っている。子どもたちが過ごしやすいよう、静かな部屋と動きのある部屋を分けて子供たちが活動に集中できるよう生活空間の確保を行っている。	はい: 81.5% どちらともいえない: 7.4% いいえ: 0% わからない: 11.1%	R2年12月の号外で感染症対策を踏まえた消毒や清掃の様子を伝えており、保護者様から「安心しました」との声を頂いている。今後も継続的に清潔な空間を確保していく。終礼時に子どもたちの活動の様子など話し合い、適宜、子どもたちが活動しやすい環境の確保を行っていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々の朝礼、終礼、会議を通して、職員各自が主体者となって目標設定と振り返りを行っている。また、振り返りを周知するために会議記録や連絡事項を全職員で閲覧している。		今後も継続して、日々、職員間の情報共有、業務の改善に取り組む。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	月1回の会議を通して、他事業所と意見交換を行い、有益な情報は活用し、業務改善を行っている。		今後も月1回の会議を軸として、必要であれば業務の改善に取り組む。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回の課題会議や事業所内研修を行っている。コロナ禍になり、外部のオンライン研修に積極的に参加した。		今後も、職員の資質向上のために継続的に研修会への参加を促進していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	放課後等デイサービス計画更新時期に保護者と前回の放課後等デイサービス計画を用いてモニタリングやアセスメントを取っている。その子のニーズや保護者の要望に応じた放課後等デイサービス計画の作成を行っている。	はい：100% どちらともいえない：0% いいえ：0% わからない：0%	適切に行っていたので、保護者からの評価は100%を頂いております。今後も、現在の取り組みを継続していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	放課後等デイサービス計画のための担当者会議を毎月開き職員間で情報共有を行っている。プログラムや課題の様子を踏まえた、放課後等デイサービス計画の作成を行っている。	はい：100% どちらともいえない：0% いいえ：0% わからない：0%	適切に行っていたので、保護者からの評価は100%を頂いております。今後も曜日別のプログラムや個別に合わせた課題、学習、療育をふまえた計画の作成を継続する。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	担当者会議を通じて、児童発達支援管理責任者が具体的な支援内容の聞き取りと目標を放課後等デイサービス計画に記載している。	はい：96.3% どちらともいえない：0% いいえ：0% わからない：3.7%	具体的な支援内容の記載を行えているので、今後も保護者からの聞き取りを綿密に行い、放課後等デイサービス計画の支援目標と内容を慎重に設定し、記載していく。
適切な支援の提供（続き）	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員全員で放課後等デイサービス計画を閲覧し、子どもに応じた日々の療育や学習を放課後等デイサービス計画に基づいて支援を実施している。	はい：96.3% どちらともいえない：0% いいえ：0% わからない：3.7%	今後も全職員が放課後等デイサービス計画を日々の活動の中で確認を行い、適切な支援につなげる。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	曜日別のプログラムやイベントは担当と副担当を決めて、プログラムやイベントの内容を計画し、職員全体で会議を行い内容を立案している。		今後も保護者や子どもたちが楽しめるようなプログラムやイベントを立案、実行していく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は曜日ごとに決められたプログラムを実施し、休日は外遊びや遠足、イベントを実施し、長期休暇は季節に応じた遊びや避難訓練を行っている。		今後も子どもたちに応じたプログラムや学習、イベント、避難訓練を実施していく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	曜日別のプログラムを行い、毎回のプログラム内容が固定化しないよう終礼で振り返っている。	はい：92.6% どちらともいえない：7.4% いいえ：0% わからない：0%	日々の終礼の中で、プログラム内容の改善を行い、内容の固定化を防ぐ。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	日々の朝礼時に日案・人員配置表・送迎表の確認を行い、職員間での支援内容や役割分担を確認している。		今後も、現在の取り組みを継続し、職員間での支援内容や役割分担を確認することで支援の円滑化を図る。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後、毎日職員間で終礼を行い、支援の振り返りや、ヒヤリハット、現場の改善点などを全職員で話し合っている。		継続して、終礼時の職員間の情報共有を行い、支援内容の改善に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個々の活動に関する記録を毎日記入している。学習に関しては、学習内容や学習態度を記録し、職員間で共有したり、保護者にも連絡を行っている。		今後も活動記録や学習記録を継続し、職員や保護者で情報を共有していく。
	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	担当者会議で職員間でモニタリングを行っている。保護者にも前回の放課後等デイサービス計画を確認してもらい、支援目標の達成、未達成の情報共有を計り、次回の放課後等デイサービス計画作成の参考に行っている。		今後も定期的なモニタリングの実施及び、放課後等デイサービス計画の見直しを行っていく。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者が相談支援事業所とサービス担当者会議を毎月行っている。必要に応じて、学校などと情報共有を行っている。		必要に応じて担当者会議の開催を関係機関に呼びかけ、実施していく。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的なケアが必要なケースはこれまでに無かった。		医療的ケアが必要なケースに備え、関係機関との連携を進める。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的なケアが必要なケースはこれまでに無かった。医師からの申し渡しを保護者から伝えられた時は、その都度対応している。		医療的ケアが必要なケースが出た時には、主治医や医療関係機関と連携していく。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談所との移行支援を行いながら、保護者から保育園や幼稚園、小学校、特別支援学校での様子の聞き取りを行っています。		保護者を通して教育機関とつながり、直接連携を取れるよう努める。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	現在のところ、学校を卒業し障害福祉サービス事業所に移行した方は1名のみとなっているが、その際は相談所を通じて情報提供を行った。		今後、卒業される方がいた場合には、障害福祉サービス関連の方と情報共有を行っていく。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関での研修は、参加できる職員は積極的に受講している。		今後も継続して参加することで職員の質の向上を目指す。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	徒歩圏内には児童館はなく、児童クラブも学校内での取り組みで、オープンにされておらず交流の機会がない。障害のない子どもとの活動はしていないが、通常級在籍の子どもが多いので、日ごろから活動を共にしている。	はい：7.4% どちらともいえない：14.8% いいえ：14.8% わからない：63.0%	機会があれば積極的に参加していく。
	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の祭りに事業所として出店し、地域住民と交流しているが、本年度はコロナ禍のため参加できていない。地域のNPO法人と連携し半ばり遠足などを実施している。		三年前に川西まつり、一昨年には清和台の納涼祭への参加を行っているが、保護者から分からないとの評価を頂いているので、今後も継続し周知していく。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学や契約時に支援の内容や様子をタブレットを用いてわかりやすく説明を行っている。利用者負担等は契約時に書面と口頭で説明し、同意を得ている。	はい：96.3% どちらともいえない：3.7% いいえ：0% わからない：0%	保護者のほとんどの方から「はい」と評価を得ているので、今後も保護者の立場に立った説明を行い、同意を得ていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者とお会いして放課後等デイサービス計画の書面を示しながら内容について細かく説明を行い、同意の上、署名捺印をもらっている。	はい：100% どちらともいえない：0% いいえ：0% わからない：0%	保護者の方から「はい」を100%頂いているので、今後も同様に保護者様に分かりやすく、丁寧な説明を継続して行っていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	コロナ禍以前は「さくらさくの会」(保護者への勉強会)を開催していたが、本年度はコロナ禍のため休止している。	はい：59.3% どちらともいえない：18.5% いいえ：0% わからない：22.2%	今後も、コロナ禍が落ち着き次第「さくらさくの会」にて保護者向けに発達障害の理解を促す講座を定期的に行い、家族支援に努める。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	保護者と送迎の際に日ごろの様子や学習の様子を毎回伝えている。家庭での様子も連絡帳や送迎時に情報共有を行っている。	はい：100% どちらともいえない：0% いいえ：0% わからない：0%	保護者の方から「はい」を100%頂いているので、今後もより一層保護者や子どもの気持ちに寄り添って共通理解していく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	日頃からラインや電話、連絡帳、送迎時などに悩み事やご相談を頂いた場合、その都度丁寧に対応を行っている。	はい：81.5% どちらともいえない：7.4% いいえ：3.7% わからない：7.4%	今後も日頃から相談しやすい環境整備を行い、積極的に面談の機会を持つよう働きかける。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	年二回の保護者会(勉強会)を開催したり、夏休みにはキャンプを通して保護者交流の場を設けている。ランチ会(父母会)も行っている。ただし、本年度はコロナ禍の為、実施できていない。	はい：22.2% どちらともいえない：18.5% いいえ：3.7% わからない：55.6%	本年度はコロナ禍の為、実施できていないので、今後、開催できるようになったら、保護者に参加していただくようお知らせする。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	電話やメール、ライン、意見箱等で常時対応体制ができています。契約書にも苦情に関するお問い合わせ等を記載しており、契約時に説明を行っている。	はい：55.6% どちらともいえない：14.8% いいえ：0% わからない：29.6%	「わからない」は苦情がなかったためと補足いただいている。再度、苦情対応をしていることを保護者にお知らせしていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	前日にラインやメール、電話を通して連絡事項や送迎連絡をお伝えしてる。送りの際には当日の様子や出来事を報告している。当日に会えない時はラインや電話等で様子を報告している。	はい：96.3% どちらともいえない：0% いいえ：0% わからない：3.7%	今後も継続して、前日の連絡や当日の振り返りを継続し取り組む。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、事業所内の様子をお便りとして配布している。また、ブログで毎週、事業所内の出来事を記事にして発信している。連絡に関しては、電話やライン、メールを用いて、保護者から気軽に連絡を取れる環境を作っている。	はい：96.3% どちらともいえない：0% いいえ：0% わからない：3.7%	今後も継続して、事業所内のことをブログやお便り、ラインを活用して、保護者に分かりやすく発信していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報に関する書類は第三者に見られないよう厳重に保管している。また、個人情報を使用する場合は、保護者に必ず確認を取った後、使用するようになっている。	はい：88.9% どちらともいえない：3.7% いいえ：0% わからない：7.4%	今後も、個人情報の使用には細心の注意を払っていく。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルは全て策定しており、長期休暇時に避難訓練を実施し、保護者や児童に対して、お便り等で連絡している。職員間では、定期的にマニュアルの確認を行っている。	はい：81.5% どちらともいえない：3.7% いいえ：0% わからない：14.8%	以前の保護者の評価では半数近くが「わからない」との評価だったが、本年度は保護者に周知徹底し「はい」との評価を80%以上いただいたので、今後も周知を継続していく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	長期休暇時に避難訓練週間を設けて、出来る限り利用児童全員に避難訓練を実施できるよう取り組んでいる。本年はコロナ禍の為、密を避けるために避難訓練ではなく、防災紙芝居や避難訓練の動画を用いて災害時の対応方法を子どもたちに伝えた。	はい：96.3% どちらともいえない：0% いいえ：0% わからない：3.7%	今後も避難訓練を実施する際は、スケジュール、ライン等で事前に周知し、終了後はブログやお便り等で保護者への報告を行う。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止委員会を設置し、虐待や虐待の疑いの報告を毎月行っている。また、虐待防止に関する研修にも参加している。		虐待防止委員会を中心に、継続して報告会、研修等を行っていく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	当事業所は身体拘束を行ったことがないため。		今後、万が一、身体拘束が必要であれば子どもや保護者に事前に説明し、了承を受けた上で放課後等デイサービス計画に記載する。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からアレルギーの確認を契約時に行っている。その情報を元におやつを提供する時は、毎回職員間で食物アレルギーのある子供の確認と、提供するおやつにアレルギーが含まれるかどうかの確認を行っている。		今後も保護者と連携を行い、アレルギーに関する情報の共有を行う。また、おやつ提供時のアレルギーの確認も継続していく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	終礼時にヒヤリハットなことがあれば、職員間で情報を共有し、連絡事項に掲載している。また、事故報告書を作成し、職員間で情報の共有を行っている。また、それを元にマニュアルの改訂を行った。		今後も継続して事故報告書やヒヤリハット報告書を作成し、職員間で周知徹底していく。